



2011-12



RIテーマ「ここちの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)
2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)
パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

週報

第418回例会 11月22日(火)AM 7:30~8:30 オークラクトシティホテル浜松4F平安の間

■司会: ■点鐘: 坂井 光蔵 ■ロータリーソング;
■ゲスト; ■ビジター;

会長挨拶

先日19日~20日は地区大会が沼津で開催されました。19日土曜日は会長部会そして20日は本大会で当クラブからは21名が参加しました。地区大会で表彰を受けましたので報告します。

①会長賞(2010-11年度の功績に対し)②感謝状(ロータリー財団より2億ドルチャレンジへ貢献)③感謝状(米山記念奨学会への寄付総額第5位)ロータリー財団や米山記念奨学会への寄付につきましては、当クラブは会費の中から支出しますので、個々には意識が薄いかも知れません。この事業は次の世代を育てる教育的、文化交流プログラム。国際理解と親善に寄与しています。仙台平成RCでは復興支援プロジェクトとして八軒中学校吹奏楽・合唱部の『あすという日が』のCD販売に協力するとの事です。ご協力をお願いします。本日の朝食は、\$100万ミールで1食500円程の減額をし東日本への支援金として地区へ送金させていただきます。最後にブータン国王が来日され幸福感という事を考えました。幸福度は、所得を欲求で割ったものだそうです。日本が幸福度が低いのは日本の高度成長を経て欲求が増えているからでしょうか。

幹事報告

- ①本日の食事が軽めだったと感じた方が多かったと思います。ガバナー公式訪問の際に話がありました『100万ドルミール』を実施させて頂きました。今朝の軽減した食事代を寄付金として拠出します。ご協力有り難うございました。
- ②11/20(日)に沼津で地区大会が開催されました。当クラブから21名が出席して頂き有り難うございました。新会員の伊藤さん、松本さん、川口さん有り難うございました。当日、学ばれた事を今後のクラブ活動に役立てて下さい。

委員会報告

会員増強維持部会長・諸星圭吾

第3回の新会員募集は19日が締め切りでしたが推薦書の提出が少なかったため12月10日まで延長します。

是非ご協力をお願いします。

社会奉仕PL・藤田允

ねむの木のカレンダーが出来ました。42冊の注文を頂きました。例会終了後に販売します。又、12月1日に記念イベントの打ち合わせに行ってきます。

青少年育成PL・熊谷真一

ベルギーに留学中の交換留学生の堤さんからマンスリーレポートが届きました。

例会風景



メンバーズナウ

伊藤 勝人

Q今一番力を入れて取り組んでいる事
・全国の染織工芸作家の先生の人柄と
咲く日の紹介、直接ふれ合いの会
・釣れないカジキマグロを遠州灘沖で
いつか釣ること
Q今呟きたいこと
性格上、つぶやかない



スマイル報告

森 俊彦;過日の閑栖(かんせい)和尚の津送(しんそう)には、クラブよりご高配を会員の皆様にはご参列頂き有り難うございました。和尚として最後の一大行事を終える事が出来ました。

加藤隆司;11/20(日)に次女が結婚式を挙げました。娘からは、最後の挨拶までお父さん泣いちゃダメだよ!と言われ、泣くもんか...と言っていました。その場面が来たら涙がこぼれない様ず〜と上を向いていました。ああ〜花嫁の父親として、このシーンが嫌なんだよね。

福地三則;ソフトバンクのアイホン4Sへの乗り換えキャンペーンは11月末で終わります。アイホン3G、3GSの方は4Sへ無料で乗り換えられます。近くの販売店か私に11月中にお申し込みを!今、品薄で申込から約1ヶ月後の納品となります。4Sは、使いやすいです。



第2620地区地区大会



出席

80名中57名73.08%
前回回修正出席率97.44%



2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)
 2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)
 パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

議事卓話

第418回例会
 2011年11月22日
 国際奉仕PJ

八田 峰夫 さんの卓話 (地区国際奉仕委員会・委員)

当クラブの会員であり、地区国際奉仕委員会・委員の八田 峰夫 さんより、国際奉仕、特に留学システムやその現状について語っていただきました。

ロータリー国際奉仕について

国際奉仕は、ロータリーの4番目の奉仕部門で、ロータリアンが国際理解、親善、平和を推進するための活動を行うと定義されています。当地区(第2620地区)の国際奉仕委員会は、世界社会奉仕小委員会(WCS)と青少年交換小委員会の2つの小委員会で構成されています。

世界社会奉仕は、国や行政が地域社会のニーズを満たせない発展途上国において、現地のロータリー

クラブと協力して行う人道的奉仕活動です。昨年度は地区内の4クラブが参加し、通学用自転車を送ったり

幼稚園の園舎を寄贈したりしています。

青少年長期交換は日本の高校生を1年間外国に派遣し、交換に外国の学生を受け入れるプログラムで、世界で最も優れた留学システムの一つと評価されています。当地区では10年前までは10人程度の学生を交換していましたが、最近では事業参加クラブの減少により数人の交換にとどまっています。活動の詳細に

ついては昨年度の各委員長の事業報告書をご覧ください。

さて、5年の間主に青少年交換に関わった経験から少しつぶやいてみたいと思います。何よりも痛感するのは、日本の学生の乏しい英語力、コミュニケーション能力です。青少年交換で派遣された学生は、現地に到着するとすぐに他の国からの派遣学生と顔を合わせます。皆が初対面でも楽しそうに英語で談笑する中でいつも寂しい思いをするのは日本の学生だそうです。又、最近留学生の減少の原因として学生の内向き志向が話題になりますが、最大の理由は経済的な負担と大人(特に教育関係者の)認識の低さだと思います。

そして、経済的な負担の一番の原因は、OECD諸国の中でGDP比最低の教育機関への公財政支出です。

実は日本は教育にはお金をかけない国なのです。年間わずか数十万円で1年間の留学と貴重な社会経験のできる青少年交換は、特に日本の学生にとって大変貴重なプログラムだと思います。

地区委員として活動をしていると、我がパワー浜松RCに対する期待の高さを痛感します。

次の10年は、名前の通りパワーにあふれたビッグクラブとして、地区を引っ張ることを多くのロータリアンが期待しています。



〒430-7733

Tel/Fax 053-452-0800

静岡県浜松市中区板屋町111-2 オークラアクトシティホテル浜松4307号室

Email info@power-hamamatsurc.jp <http://www.power-hamamatsurc.jp/>

パワー浜松ロータリークラブ